

PARADISE BANK



取扱説明書

無人機(子機)

ご使用の前に、この説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使い下さい。
お読みになった後も、本製品の側などに保管していただいて、いつでもご覧いただけるようにしてください。

P R O

-目次-

概要		P. 04
1. システムの起動とシャットダウン		P. 05～P. 08
1. システムの起動		P. 05～P. 06
2. システムのシャットダウン		P. 07～P. 08
3. ご注意		P. 08
2. 開始画面の説明		P. 09～P. 10
1. 開始画面		P. 09～P. 10
2. メダルの預け入れ処理の流れ		P. 11
3. メダルの払い出し処理の流れ		P. 12
4. 来店ポイント処理の流れ		P. 13
5. 暗証番号の入力画面		P. 14
3. 管理者メニュー		P. 15～P. 17
1. メダルデータ		P. 15
2. 各種操作		P. 16～P. 17
4. メダル棚卸		P. 18
5. サービスメダル		P. 19
6. モニター(無人機のための機能です)		P. 20～P. 21
7. システムブロック図		P. 22
無人メダルユニット概略仕様		P. 23
保証について		P. 24
注意事項		P. 25～P. 26

図書履歴

2009.05.20	初版発行
2009.08.03	第二版発行
2009.08.25	第三版発行
2009.09.29	第四版発行
2009.12.07	第五版発行
2010.01.30	第六版発行
2010.04.15	第七版発行
2010.05.24	第八版発行
2011.03.09	第九版発行

PRO
BIG WAVE OF AMUSEMENT

【 概要 】

パラダイスバンクシステムは、カウンター機(以下親機と呼びます)と無人機(以下子機と呼びます)の構成で動作いたします。

基本動作は、静脈認証による高度なセキュリティの下で、お客様を特定し
アミューズメント施設で御使用される、メダルの預かり、払い出しを行う機器です。

■ 親機は、お客様の情報(マスター顧客情報)を管理するための機器です。

主にお客様の新規登録、アテンダント、使用状況(ログ)の確認など。

データのバックアップは、子機に定期的に保存されます

(デフォルト設定)。

また、子機の動作設定などを行います。

■ 子機は、お客様による、メダルの預け入れ、払い出しを行う機器です。

■ マスター顧客情報は、親機に保存され、ネットワーク接続により子機と共有しています。

(設定を変える事で、子機のデータをマスターとして使用する事が可能です。

これは、子機単体で御使用も可能であると言う事です)

■ 子機は最大 254 台を接続する事が可能で、店舗の規模に応じて拡張しての使用が可能です。

■ 次ページより、子機について、システム起動、システムのシャットダウン、

預け入れ操作、払い出し操作、各種設定操作についてご説明いたします。

1. システムの起動とシャットダウン

1.1 子機システムの起動

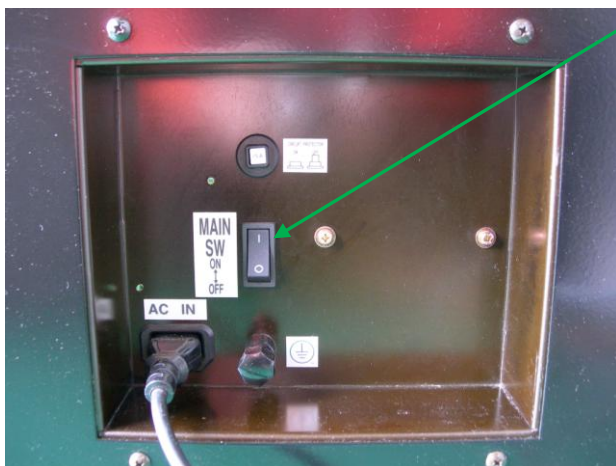
***親機がサーバーとなりますので必ず親機を最初に立ち上げてください。**

①AC プラグを、安定した電源のコンセントに差します。

②パラダイスバンクの主電源を ON にします。

本体後面下部にあります。

MAIN SW(スイッチ)を ON にします。



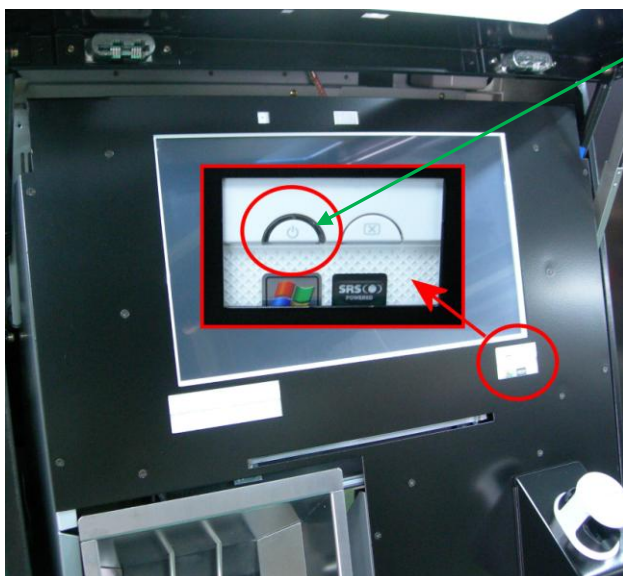
③バックアップ電源（UPS）の電源を ON にします。

本体正面下部にあります。（扉をお開け下さい） スイッチを ON にします。



④システムが立ち上がり、開始画面が表示されます。

※パラダイスバンク PC 部の電源が自動的に立ち上がらない場合、
扉をお開けいただき、モニター右下部にありますスイッチを ON にしてください。

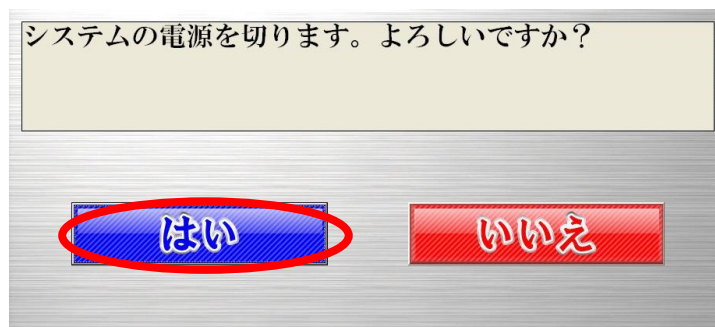
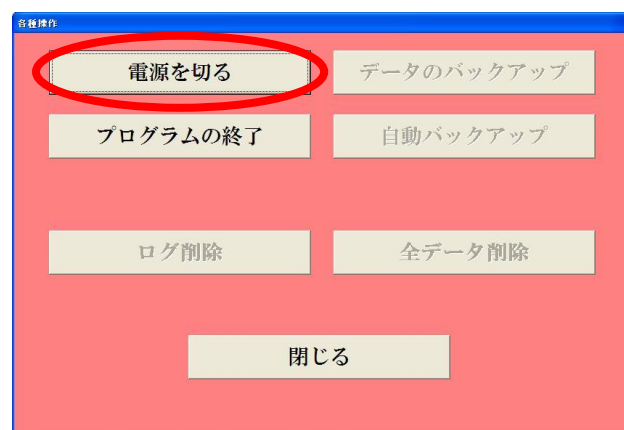
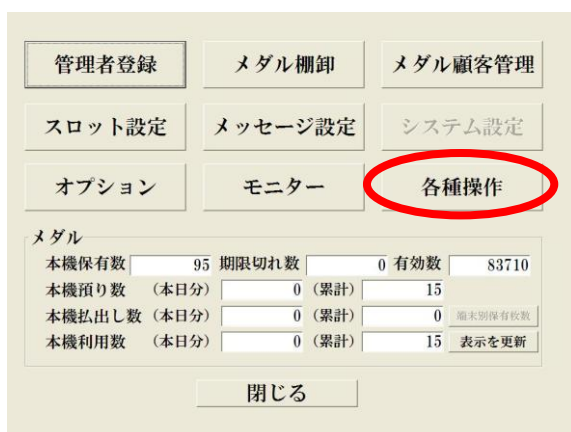


1.2 シャットダウン

①開始画面より管理者 ID により管理メニューを表示させます「各種操作」→「電源を切る」を押します。



預け入れ、払い出し、いずれかのボタンから管理者の暗証番号を入力し、静脈認証する事で管理者メニューが表示されます。



②パラダイスバンクユニットのコンピューターがシャットダウンします。

③子機に搭載されたコンピューター部分が終了した後、バックアップ電源(UPS)の電源を OFF にします。

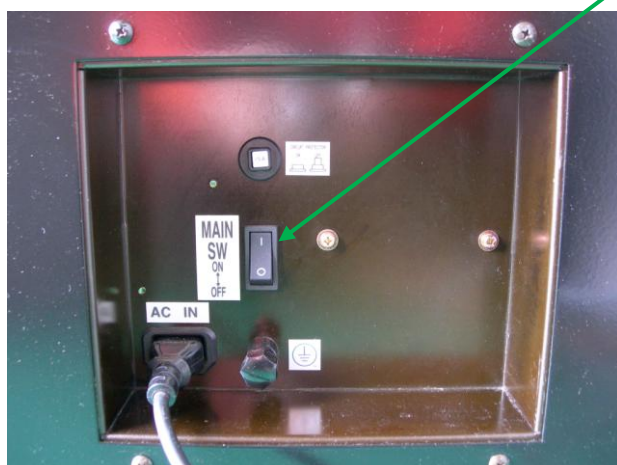
本体正面下部の扉を開けて頂き、一番下に配置してあります。スイッチを OFF にします。



④パラダイスバンクの主電源を OFF にします。

本体後面下部にあります。

MAIN SW(スイッチ)を OFF にします。



*親機は必ず最後にシャットダウンしてください。

1.3 ご注意

ご注意：管理 PC は Windows のシステムを利用しています、その為 Windows のファイルを残しています、インターネットの他、GAME など実行されたり、他のアプリケーションをインストールされますと、システムの環境が変わりパラダイスバンクの動作に障害を起こす可能性も、考えられますので Windows の環境変更など行わない様、充分にご注意ください。上記以外の方法でシステム立ち上げ、システムのシャットダウンを行った場合、機械の故障に繋がりますので、充分にご注意ください。

2. 開始画面の説明

2.1 開始画面



※子機での操作には事前に親機で登録を行う必要があります。

①メダルの預け入れ

メダルの預け入れ作業を行います。

②メダルの払い出し

メダルの払い出し作業を行います。

③来店ポイント（オプション）

来店ポイントの付与を行います。

④ゲームセンター名

ゲームセンター名を表示します。

⑤現在時刻

現在の日付と時刻を表示します。

⑥待機中メッセージ

待機中のメッセージが設定されている場合、この位置にメッセージが表示されます。

⑦有効期限

メダル預かりの有効期限が設定されている場合、この位置にメッセージが表示されます。

⑧タンク残容量の表示

メダルタンクの現在の残容量を表示します。

上に表示されるマークが上部タンク、下に表示されるマークが下部タンクを表します。



タンク残容量がほとんど無い状態



一定以上のメダルがタンクに貯まっている状態



タンクが満タンの状態

※上部タンクが満タンで無い状態で、下部タンクに一定以上のメダルが貯まっている時、メダルを下部タンクから上部タンクへ補充します。

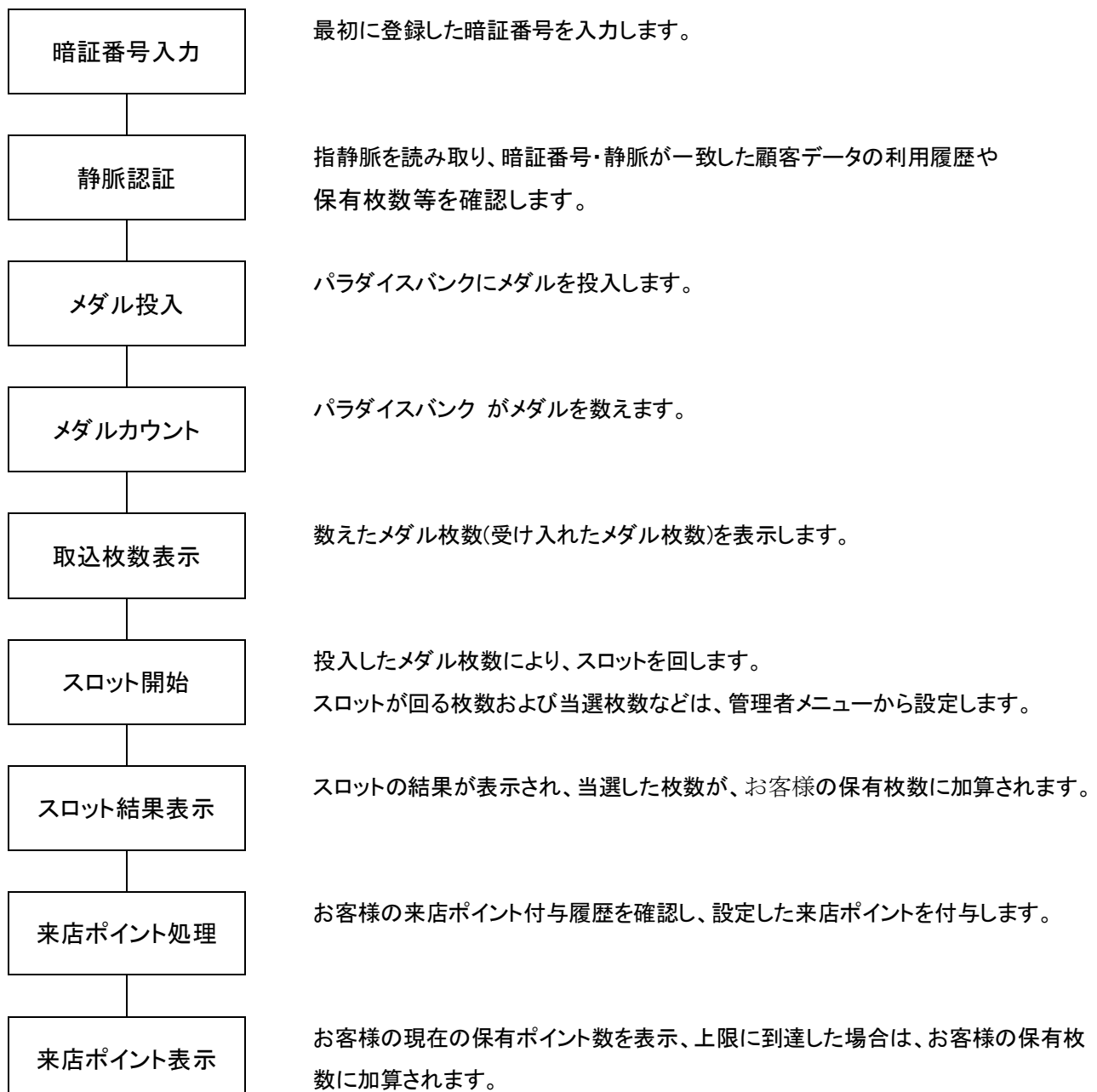
上部タンクが満タンになった場合、または下部タンクのメダルがほとんど無くなった時、上部タンクへの補充はストップします。

⑨機器保有枚数

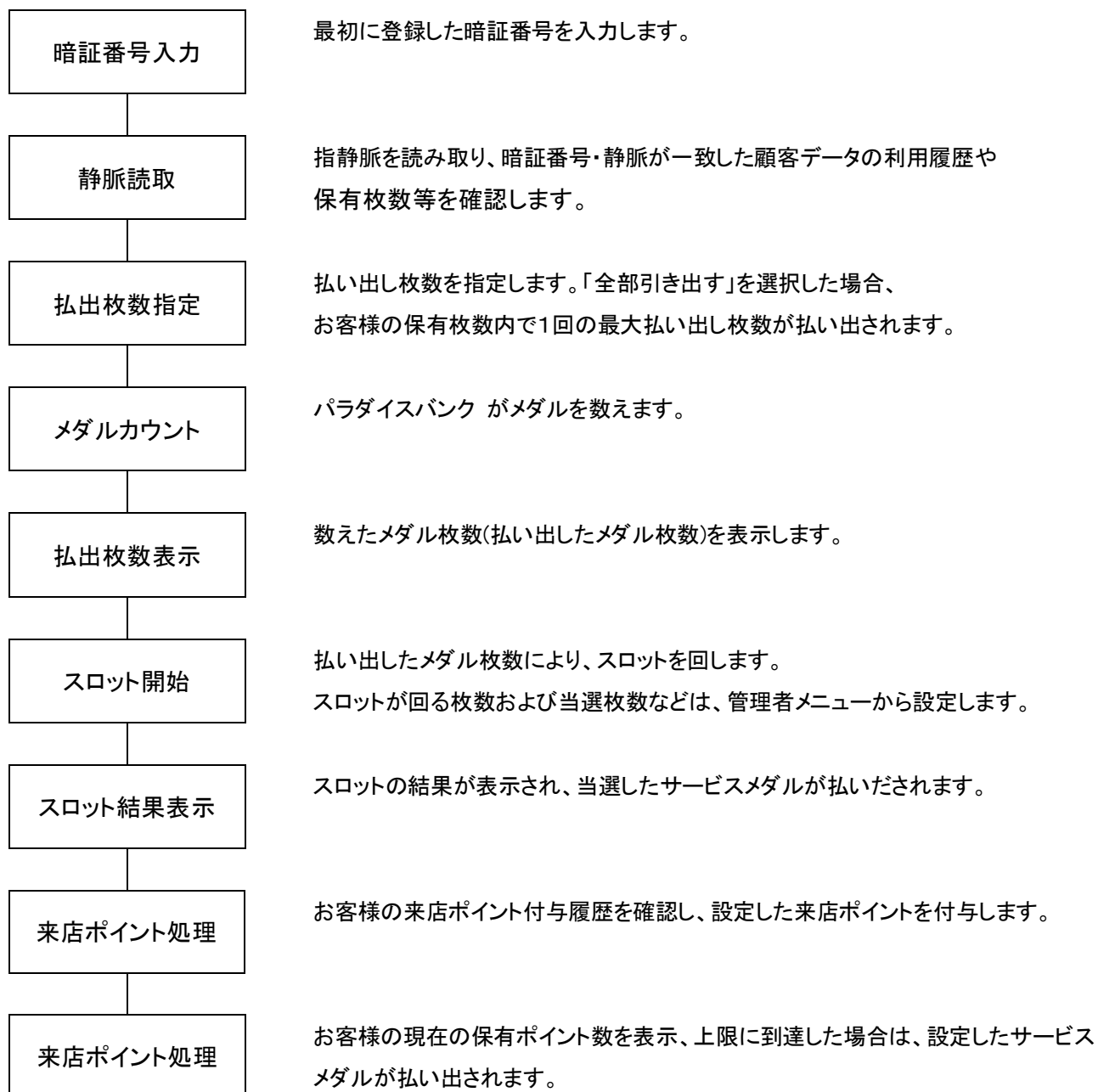
現在この機器が保有している、メダル枚数が表示されます。

※メダル棚卸等をせず、タンクへ手動で補充した場合、この表示は正確でなくなります。

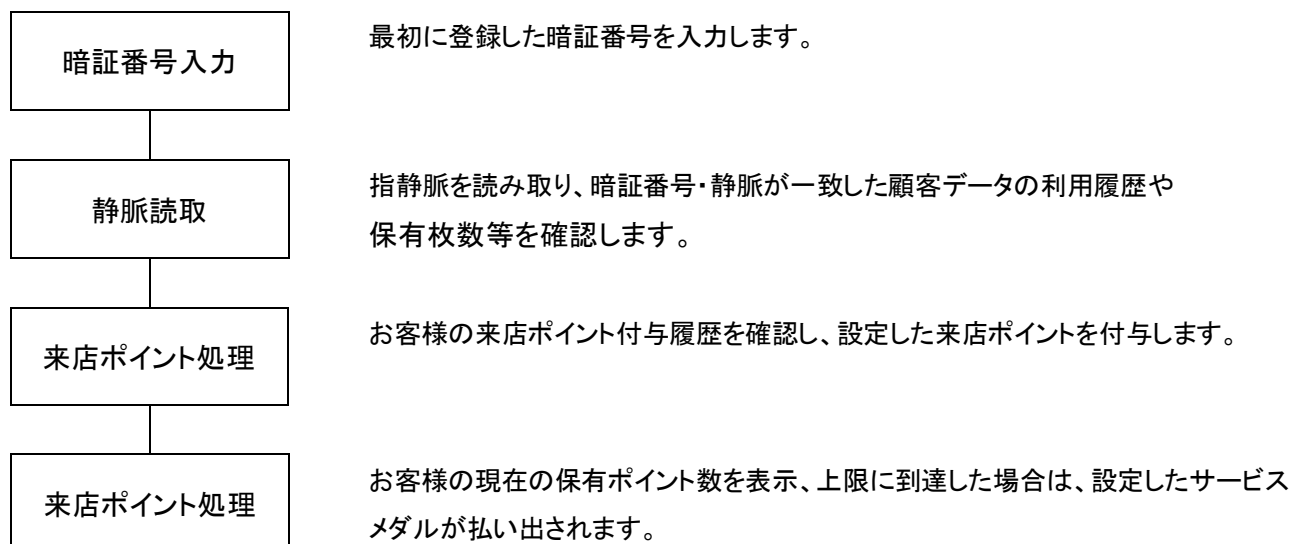
2.2 メダルの預け入れ処理の流れ



2.3 メダルの払い出し処理の流れ



2.4 来店ポイント



2.5 暗証番号の入力画面

暗証番号を入力してください



次に静脈認証を行います。



※ ご注意

正しく操作していただかざせんと、認証エラーが起こる可能性があります。
登録・認証に関する詳しい説明は、別表の「日立静脈認証装置／登録・認証の
仕方」をご覧ください。

3. 管理者メニュー

管理者の暗証番号を入力後、本画面が表示されます。

※管理者の暗証番号のみ1桁から登録が可能です。

【メダルデータ】

管理者登録	メダル棚卸	メダル顧客管理
スロット設定	メッセージ設定	システム設定
来店ポイント設定	サービスメダル	メール設定
オプション	モニター	各種操作

メダル

本機保有数	2,212	期限切れ数	0	有効数	82,219
本機預り数 (本日分)	0	(累計)	62,743		
本機払出し数 (本日分)	0	(累計)	12,011	端末別保有枚数	
本機利用数 (本日分)	0	(累計)	50,732	表示を更新	

[追加オプション](#)[ログアウト](#)[ログフォルダ表示](#)

kenmochi

【本機保有数】

現在、本機が保有しているメダルの総数です。

【期限切れ数】

期限が切れている全体のメダルの総数です。

【有効数】

現在、お客様から預かっているメダルの総数です。

【本機預り数 (本日)】

本日、本機で預け入れされたメダルの総数です。

【本機預り数 (累計)】

今までに、本機で預け入れされたメダルの総数です。

【本機払出し数 (本日)】

本日、本機で払い出しされたメダルの総数です。

【本機払出し数 (累計)】

今までに、本機で払い出しされたメダルの総数です。

【本機利用数 (本日)】

本日、本機で預け入れ・払い出しをされた回数です。

【本機利用数 (累計)】

今までに、このパラダイスバンクで預け入れ・払い出した数が右側に表示されます。

【各種操作】

① 管理者登録	② メダル棚卸	③ メダル顧客管理
④ スロット設定	⑤ メッセージ設定	⑥ システム設定
⑦ 来店ポイント設定	⑧ サービスメダル	⑨ メール設定
⑩ オプション	⑪ モニター	⑫ 各種操作

メダル

本機保有数	2,212	期限切れ数	0	有効数	82,219
本機預り数 (本日分)	0	(累計)	62,743		
本機払出し数 (本日分)	0	(累計)	12,011	端末別保有枚数	
本機利用数 (本日分)	0	(累計)	50,732	表示を更新	

追加オプション

ログアウト

ログフォルダ表示
kenmochi

① 管理者登録

管理者の登録を行います。静脈再登録、暗証番号変更、管理者権限の設定変更もここで行います。
詳細は、別紙の「親機取扱説明書」「4.管理者登録」を参照してください。

② メダル棚卸

本機の保有するメダル排出及び、補充など保有メダルの調整を行います。
詳細は、「4.メダル棚卸」(P. 17)を参照してください。

③ メダル顧客管理

お客様の名簿を一覧表示し、お客様毎のデータの表示・変更・削除を行います。
詳細は、別紙の「親機取扱説明書」「2.メダル顧客管理」を参照してください。

④ スロット設定

スロットの当選枚数・1人のお客様のスロット使用回数などを登録します。
詳細は、別紙の「親機取扱説明書」「5.スロット設定」を参照してください。

⑤ メッセージ設定

営業中に表示するメッセージの作成・設定を行います。
詳細は、別紙の「親機取扱説明書」「6.メッセージ設定」を参照してください。

⑥ システム設定

本機の通信に関する設定や、バックアップ先の設定等を行います。
詳細は、別紙の「システム設定」を参照してください。

⑦ 来店ポイント設定

来店ポイントに関する設定を行います。

詳細は、別紙の「親機取扱説明書」 「7.メッセージ設定」を参照してください。

⑧ サービスメダル

サービスメダルの払い出しを行います。

詳細は、「5.サービスメダル」 (P. 16～P. 18)を参照してください。

⑨ メール設定

メール送信に関する設定を行います。

詳細は、別紙の「親機取扱説明書」 「8.メール設定」を参照してください。

⑩ オプション

メダルのお預かり期間、システムの運用に関する設定を行います。

詳細は、別紙の「親機取扱説明書」 「9.オプション」を参照してください。

⑪ モニター

システムの動作環境を確認・テストします。

詳細は「9.モニター」 (P. 16～P. 18)を参照してください。

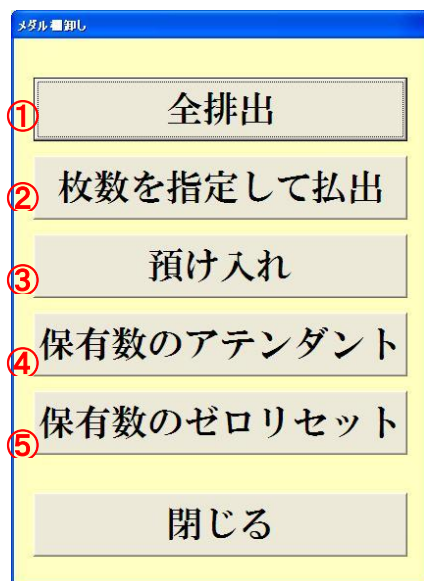
⑫ 各種操作

システム停止、システムの再起動、データバックアップ等の操作を行います。

詳細は、別紙の「親機取扱説明書」 「10.各種操作」を参照してください。

4. メダル棚卸

本機の保有するメダルの排出・補充・表示数の変更等を行います。



① 全排出

本機が保有している全てのメダルを排出します。

この処理が正常終了すると本機の保有数を 0 リセットします

② 枚数を指定して払出

本機が実際に保有するメダル数を排出調整する為の管理排出機能です。

③ 預け入れ

本機が実際に保有するメダル数を補充調整する為の管理補充機能です。

④ 保有数のアテンダント

本機で表示される保有数を変更する為の編集機能です。

⑤ 保有数のゼロリセット

本機で表示される保有数を「0」にする為の編集機能です。

5. サービスメダル

サービスメダルを払い出します。

サービスメダル		
10	枚数変更	サービスメダル払出
20	枚数変更	サービスメダル払出
30	枚数変更	サービスメダル払出
登録		閉じる

「サービスメダル払出」ボタンを押すと左側で指定した枚数のメダルが払い出されます。

払い出されるサービスメダル数は「枚数変更」ボタンから編集が可能です。

編集した払い出しメダル数を保存する際には「登録」ボタンを押してください。

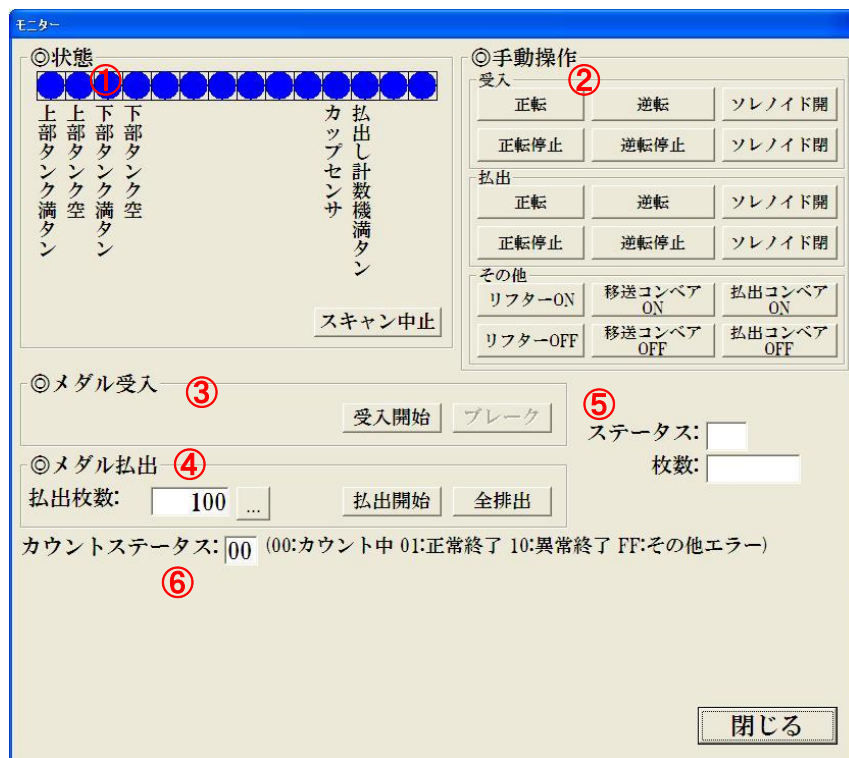
※サービスメダルとして払い出されたメダルのログはメダル顧客管理画面の全体ログで確認できます。

(払い出した管理者、払い出した枚数、時刻を記録します)

6. モニター

メダル制御機器の状態を表示、また、手動操作が可能です。

【モニター・手動操作】



① 状態

各センサーの状態を表示します。(青=OFF 赤=ON)

「スキャン中止」ボタンをクリックすると状態表示を停止します。

再度このボタンをクリックすると状態表示を開始します。

② 手動操作

受入計数機・払出計数機・リフター・移送コンベア(リフターへの補充)・

払出コンベア(払出計数機への補充)に対し動作指示を出力します。

※移送コンベアはリフターが ON になっている状態でないと作動しません。

③ メダル受入

メダルの受け入れ動作を行います。

「受入開始」ボタンをクリック後、メダルの受け入れを行います。

「ブレーク」ボタンをクリックすると、メダルの受け入れ動作を中止します。

※この操作で受け入れた場合、本機の保有数にはカウントされませんのでご注意ください。

④ メダル払出

メダルの払い出し動作を行います。

払出枚数に払い出しする枚数を設定し、「払出開始」ボタンをクリックすると、指定枚数メダルを払い出しします。

「全排出」ボタンをクリックすると本機に投入されているメダルが全て払い出しされます。

※この操作で受け入れた場合、本機の保有数にはカウントされませんのでご注意ください。

⑤ ステータス・枚数

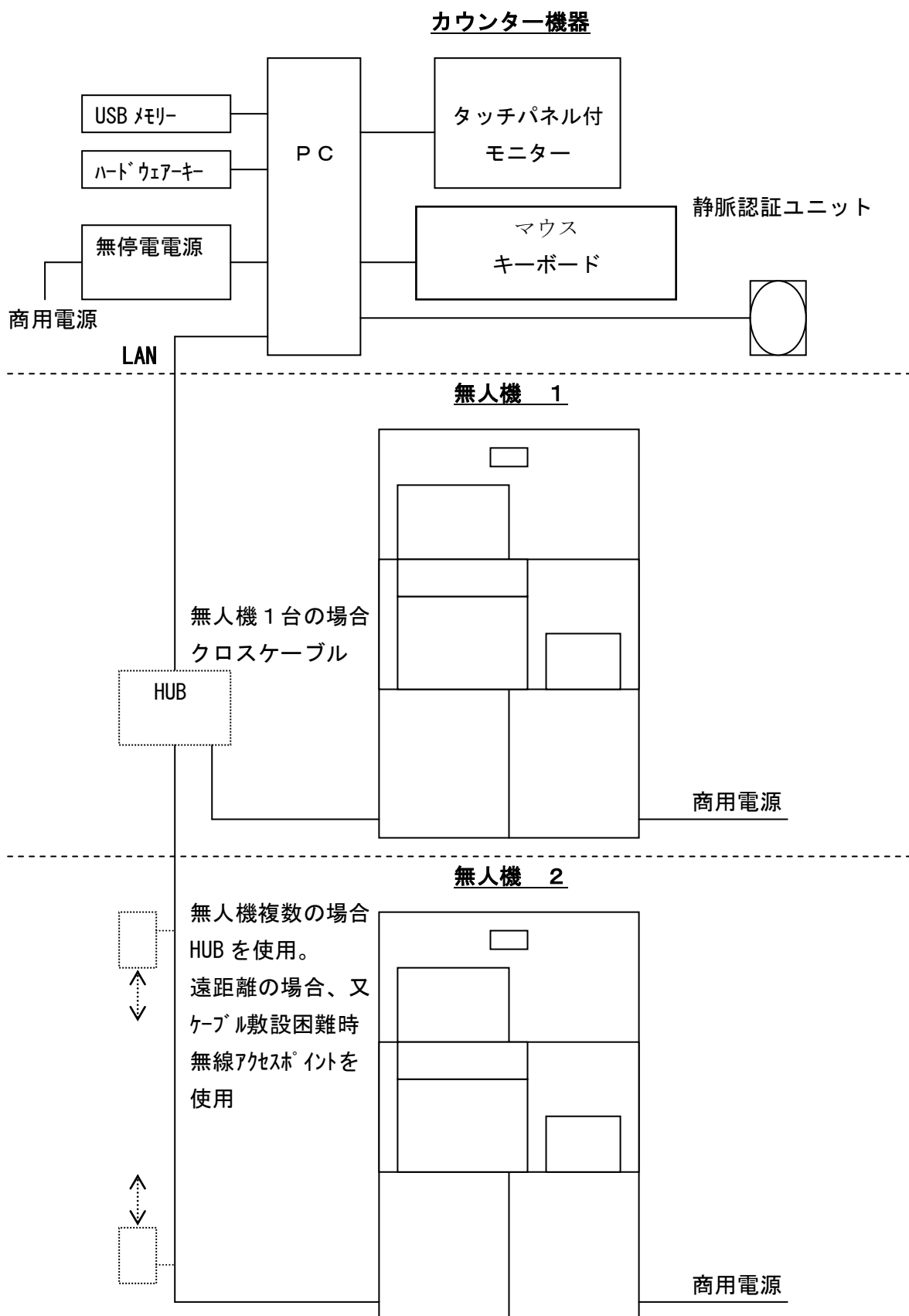
ステータス： メダル制御機器がメダルをカウントしているときの、各センサーの状態を表示します。

枚数： メダル制御機器がカウントしている枚数を表示します。

⑥ カウントステータス

カウントステータス： メダル制御機器のカウント状態を表示します。

7. システムブロック図



無人メダルユニット概略仕様

本人認証方式	指静脈認証装置
操作方式	液晶タッチパネル対話方式
計数方式	計数機
受入計数速度	約 1, 800 枚／分
払出計数速度	約 1, 800 枚／分
メダル収容枚数	約 20, 000 枚 (Φ25)
電源	AC100V±10% (50／60HZ)
消費電力	約 250W
重量	約 200kgf (メダル空時)
標準色	黒塗装
停電対応	メインコントローラーはUPSにてバックアップ。 メッセージ表示後自動シャットダウン

保証について

本製品の保証期間は ヶ月です。(経過日数は弊社工場出荷日より起算致します。)

保証期間内に弊社の責に帰す事由により発生した障害については、弊社が無償修理致します。障害を発見した時には、使用をやめて、その状況を御連絡下さい。

ただし、以下に揚げた障害については保証適用除外となります。

- (1) 天災等の不可抗力に起因する障害。
- (2) 冠水、機器の落下破損による障害。
- (3) 機器操作上の誤りに起因する障害。
- (4) 本書の指定する設置条件、仕様条件に反して使用したことに起因する障害。
- (5) 弊社が指定していない仕様条件変更(装置の追加・改造)に起因する障害。
- (6) 使用者の故意・過失に起因する障害。
- (7) 必要な定期整備(保守点検)を怠ったことに起因する障害。
- (8) オーバーホール、定期メンテナンス、大型機械の移動・再設置。
- (9) 本製品以外の他の機器に起因する障害。
他の機器から発生する電波、磁気干渉等による誤動作。
- (10) 消耗品とみなされる部品。
 - ア) LED、蛍光灯、ランプ類
 - イ) スイッチ、ボタン類
 - ウ) ヒューズ類、ネジ、その他
 - エ) ベルト類、ソレノイド類
 - オ) その他、メーカーにて部品寿命を規定している物。

また、使用不能による利益損失、間接の障害に対しては一切責任を負いません。

【保証期間】

品 名	パラダイスバンク	保証期間	出荷日より ヶ月
N O,		出荷日	
製造元	株式会社 プ ロ 〒559-0025 大阪市住之江区平林南 2-8-33 TEL (06)6684-6363 FAX (06)6684-6360		



注意！

本製品は屋内用の精密情報機器です。屋外へは設置しないでください。

また、屋内でも次のような所には設置しないでください。火災・感電・けが・故障の原因となります。

- ・ 雨漏り、漏水する所、あるいは屋内プール、シャワーの周辺など湿度の高い所。
- ・ 直射日光の当たる所や、暖房器具の近くなど、温度の高いところ。
- ・ 可燃ガスが充満する所や、引火性、揮発性の強い薬品または危険物の周辺。
- ・ ほこりの多い所。
- ・ 傾斜面。
- ・ 振動のはげしい所。
- ・ 非常口、消火器などの防災設備の周辺。
- ・ 仕様適用温度（周辺温度）0℃～40℃の範囲を超える所（プロジェクタ使用の際は5℃～30℃）
- ・ 自動販売機、エアコン等ノイズ源近傍。

事故防止のために、設置場所の繁雑時を考慮して十分なスペースを確保してください。スペースが狭いと、お客様が他の人と接触、衝突して事故やトラブルの原因となります。

営業中の注意(お客様への注意)

事故や無用なトラブルを防ぐため、日頃からお客様、操作者の挙動に注意するよう心掛けてください。



警告！

- 本製品の上に重量物や飲み物を置かないように注意してください。落下物による事故やこぼれた飲み物により感電事故の原因となります。
- 本製品の開口部やドアの隙間にむやみに手や指、異物を入れさせないでください。けが、感電、短絡事故の原因となります。
- 本製品に寄りかかる、登るなどの行為は直ちに止めてください。転倒、落下事故の原因となります。
- 電源プラグをむやみに抜かせないでください。感電、短絡事故の原因となります。

本製品を叩く、蹴るなどの乱暴な行為は直ちに止めてください。部品破損や転倒の原因となり、破片や転倒による傷害事故の恐れがあります。

本製品立ち上げ中にゲーム機等を一勢に立ち上げますと、電圧降下・ノイズ等の影響により故障の原因となります。